

秋の観光シーズンにおける 観光課題対策

はじめに

令和6年秋シーズンの取組について

<検討の視点等>

- 市民生活と調和した観光の実現に向け、着手可能なあらゆる施策に着手し、その効果を検証し、より効果的な施策を模索していく必要がある。
- また、市民から令和5年以降に経験した観光課題等について意見募集を行った結果、「特に印象に残った観光課題」が地域ごとに異なる結果となった。
- ⇒ 全市的な対策に加え、地域の実情に応じた対策を実施する必要性を認識。

※一部事業については国補助金（観光庁「オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業」）を活用

<プロジェクトチームによる検討経過等>

- 市民意見募集結果のほか、関連部局の課題認識や、区役所・支所に届いている地域の声等も踏まえ、観光課題が特に顕在化している5地域（東山・嵐山・祇園・京都駅・伏見稻荷）を対象とした部会を設置し、検討を進めてきた。

<取組結果等に関する総括>

- 令和6年秋の観光客数は、昨年と比較して微増したものの、コロナ禍前（令和元年）までには至らず。
- このような状況の中、全市的な対策に加え地域の実情に応じた対策を、関係局間の連携の下で複合的に実施した結果、市民生活への影響の抑制・未然防止に資する効果を発揮することが出来た。
- 今後も、効果が確認された取組をしっかりと継続するとともに、地域の実情をしっかりと踏まえ、観光に関わる全ての主体と連携しながら、市民生活と観光が調和する形で両立できるよう対策を進めていく。

（主な対策の効果（対策結果の詳細は後述））

- ・ とっておきの京都エリアでは、日本人観光客が20%程度増加。特に対策を行った嵯峨嵐山エリアでは、誘導先の嵯峨エリアの日本人観光客が30%増加。
- ・ 観光特急バスは、11月平均で3,000人/日に迫る利用実績（最も多い日で4,000人近くの利用）。
- ・ 京都駅市バスD2のりば（東山方面）の待ち時間は、概ね10分～15分程度に縮小（待機列が殆ど発生していない時間帯も有り。）
- ・ 社会実験を行った東山地域では、東大路通南行の旅行速度が改善。清水坂観光駐車場の完全予約制導入により、五条坂の混雑が緩和。
- ・ 地域と連携した散乱ごみ対策により、散乱ごみがほとんど見られなかった。

令和6年秋シーズンの観光客の動向について

- 令和6年秋シーズン（11月1日から12月上旬まで）に京都市に訪れた観光客数は、令和5年との比較では増加したが、コロナ禍前（令和元年）までには至らなかったと分析（※）。
- ※ 以下の関連データ等を踏まえた分析。ただし、詳細な統計等は現在集計中であり、「京都観光総合調査」として6月頃に公表予定。
- 主要観光地では外国人は30%程度増加、日本人は▲15%程度減少した。他方、とっておきの京都エリアでは日本人が20%程度増加しており、一定程度、観光の分散化の効果が見られた。（いずれもR5との比較）※外国人データは未入手
- 紅葉の見頃時期が例年より後ろ倒しになったことで、シーズン内における観光客数も分散し、ピークと想定していた11月下旬の集中が緩和されていたと推察。

【関連データ】

- ・ 市バス・地下鉄のお客様数は、令和5年同期比で微増、令和元年同期比で減。
- ・ 位置情報データ（令和5年同期比）は以下のとおり（詳細は、スライド4参照）
⇒ （日本人） 主要観光地で、概ね ▲15%程度減少。（+0.8%～▲41.7%）
とっておきの京都エリアで、概ね 20%程度増加。（+59.2%～▲7.3%）
（外国人） 主要観光地で、概ね 30%程度増加。（+46.3%～+4.6%）

【その他の参考要素】

- ・ 観光関連事業者や地域団体へのヒアリングも行ったが、令和5年と比較して人流等が大幅に増加するような状況にはなかったとの回答。
- ・ また、本市担当職員による現地確認でも、市バス、道路、観光地のいずれにおいても、上記と同様の状況であった。

■市バス・地下鉄のお客様数（速報）

【市バス】334,747人/日（R5比+2.5%、R1比▲6.6%）

【地下鉄】636,344人/日（R5比+0.3%、R1比▲10.8%）

※ 11/2～12/1の土休日（11日間平均）／市バスは降車客数、地下鉄は改札通過人員

■【参考】紅葉の見ごろ

【嵐山エリア】

R6 11/22(日)～12/6(金)

R5 11/24(金)～12/1(金)

【二条城】

R6 11/29(金)～12/13(金)

R5 11/24(金)～12/ 1(金)

（出典）京都市観光協会 紅葉だより

標本木の紅葉・落葉日（気象庁）

【紅葉日】

R6 12/20(金)(平年差+15日)

R5 12/13(水)(平年差+ 8日)

【落葉日】

R6 1/ 1(水) (平年差+14日)

R5 12/19(火) (平年差+ 1日)

※標本木：二条城 イロハカエデ

令和6年秋シーズンの観光客の動向について 【補足資料】

【位置情報データを踏まえた分析①(観光地別)】

- 昨年の数値との比較において、
 - ・ 主要な観光地では、**日本人観光客は▲15%程度減少**し(+0.8%~▲41.7%)、**外国人観光客は概ね30%程度増加**(+46.3%~+4.6%)
 - ・ 伏見、高雄等の「**とっておきの京都エリア**」においては、**日本人観光客が概ね20%程度増加**しており、場所の分散の取組効果が現れている。

(参考) 訪日外客数(国全体)

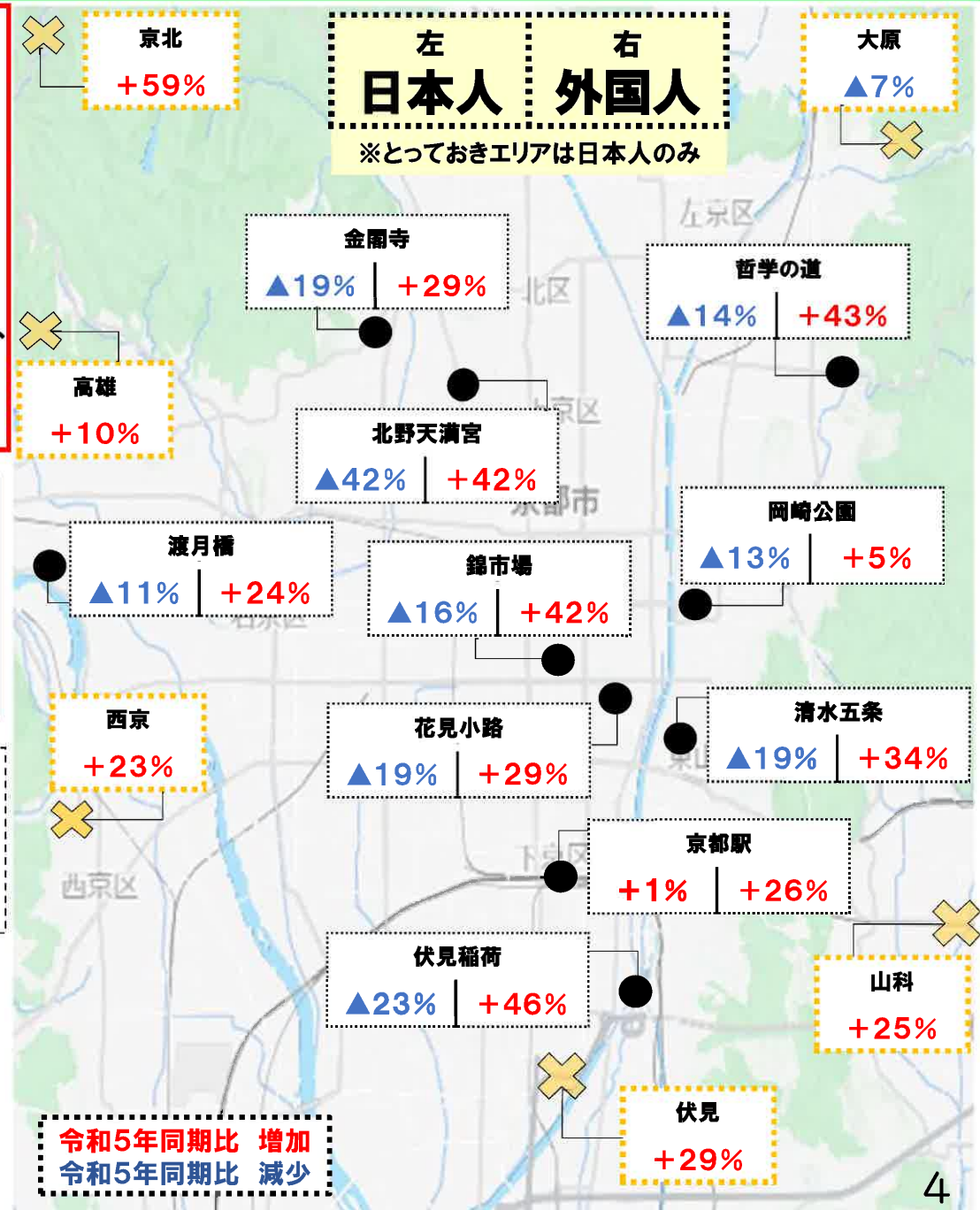
11月: 3,187千人 前年同期比+30.6%
 12月: 3,490千人 前年同期比+27.6%
 R6年計: 36,870千人 前年同期比+47.1%
 ※このうち、例年約3割の観光客が京都を訪問

(出典) JNTO

【対象期間】 令和6年11月1日~12月15日

※ 令和5年同時期(11月3日~12月17日)との比較

【参照データ】 KDDI Location Analyzer(日本人)
 クロスロケーションズ(外国人)



分野別の 観光課題対策の結果について

観光地の混雑対策

新規 「まるっと京都」 周遊観光ツアーの実施

【実績(9月～12月)】

- ・販売ツアー：32件(販売済16件,販売中16件)
- ・販売人数：1,783名(目標3,200名)
- ・販売率：約56%
- ※3月にかけて引き続き販売していく。

新規 ゲームアプリ『Pikmin Bloom』 ×「とっておきの京都」

- ・期間：11月6日から
- ・概要：
 - ゲーム内イベントのお題クリアで特典プレゼント
 - 「とっておきの京都」の観光地19箇所をイベントスポットに設定。

新規 朝・夜観光等のコンテンツ 造成

【実績】

- ・京都伏見耳祭～いい耳の日～怪談百物語
(11月9日実施)
- ・京都山科うつみ農園「新米の大収穫祭」
(11月9日実施) など

新規 嵯峨嵐山エリア内の分散化 【※詳述⇒嵐山地域の取組】

継続 「とっておきの京都」エリア の魅力発信

継続 観光地の混雑情報の発信

【結果及び対策の評価等】

- 一部の府市周遊観光ツアーでは、集客目標を大きく上回るなど、周遊観光促進に向けた一定の効果があった。
- ゲームでエリアをPRすることで、混雑対策だけでなく、京都の新たな観光体験にもつながった。
- 朝・夜観光の新規コンテンツを造成する事業者の拡大にも寄与した。
- (詳細は嵐山シートで記載)嵐山における嵯峨エリアへの誘導についても効果が確認されている。
- これらの取組により、「とっておきの京都」エリアにおける日本人観光客が昨年比で増加しており、地域活性化と観光地の分散につながったものと考えている。

道路の混雑対策

新規 東大路通における社会実験 嵐山回遊ルートの実証 【※詳述⇒東山・嵐山地域の取組】

一部新規 市営観光駐車場に集中する車両 の抑制対策(10/10-12/10) 【※詳述⇒東山地域の取組】

継続 観光地等交通対策 (東山・嵐山)

継続 パークアンドライドの 推進(10/中-12/1)

【実績】2,879件(R5比約2.3倍)

継続 観光バスの路上滞留対策に係る現地啓発活動

【期間】

11月上旬～12月上旬の土日祝
(計8日間)

【実績(啓発件数)】

御池通：17件／日(R5比▲59%)
烏丸通：16件／日(R5比▲6%)
五条通：21件／日(R5比▲30%)

※ 上記3エリアを含め、計7エリアで実施(R5秋は上記3エリア)

「長時間の路上滞留件数が減少している」ことに加え、啓発員からも「全体的に昨年度と比較すると路上滞留台数が少ない」と報告あり

<参考>市民からの目撃情報の提供

【報告件数】

計269件(令和6年12月末時点)

※ 市民からの情報等を基に、現地啓発エリアを決定

【結果及び対策の評価等】

- 東大路通社会実験を実施した結果、東大路通り南行の旅行速度が改善、また、清水坂観光駐車場の完全予約制の実施に伴い、東山五条交差点から駐車場入り口までの移動時間が短縮した。
- 観光バスの路上滞留対策に係る現地啓発については、啓発エリアを昨年度から更に拡大して実施した結果、啓発件数等が昨年度秋比でいずれも減少しており、着実に成果が表れている。
- パークアンドライドの利用については、公式LINEアカウントの新設等による情報発信の強化や、駐車料金の無料対応等により、利用台数が増加した。
- その他、臨時交通規制についても、地元や警察、交通事業者等との連携により、混乱等なく実施できた。

市バスの混雑対策

一部新規 観光特急バスの利用促進

～市民利用と観光利用の棲み分けに向けて～

※一部新規事業は太字、下線

- ・旅マエ・旅ナカにおける「観光特急バス」「地下鉄・バス1日券」のPR
- ・京都駅前バスのりば等バス停における案内サインの増設
- ・京都市バス“おもてなしコンシェルジュ”による添乗案内
- ・「観光特急バス」デザイン券面の「地下鉄・バス1日券」によるPR
- ・「観光特急バス」の停車停留所への案内員の配置



▶Dのりば案内サイン



▶JR京都駅西口
改札内・外サイネージ



▶“おもてなしコンシェルジュ”
による添乗案内

一部新規 地下鉄をはじめ鉄道をいかした移動経路の分散

※一部新規事業は太字、下線

- ・宿泊施設における「地下鉄・バス1日券」のPR
- ・「古都京都の文化財」世界遺産登録30周年を契機とした市バス周辺路線への誘客事業
- ・ポイントサービス「もえぽっ」のモバイルICOCA対応に伴うPR
- ・市バスから地下鉄への無料振替
- ・新幹線京都駅構内及び京都駅前期間限定案内所での「地下鉄・バス1日券」の臨時販売



▶新幹線京都駅構内での
臨時販売

継続 市バス・地下鉄の輸送力の増強とお客様案内の充実

- ・「観光特急バス」の運行をはじめとした市バス・地下鉄の輸送力の増強（臨時増発）
- ・京都市バス“おもてなしコンシェルジュ”による案内活動

【結果及び対策の評価等】

- 各取組により「観光特急バス」利用者数が増加、観光客と市民の棲み分けと混雑緩和に寄与したものと認識
（11月2日～12月1日の土日祝計11日間平均）
2,974人/日の御利用、最も多い御利用は11月3日の3,942人
- 地下鉄をはじめ鉄道をいかした移動経路の分散に係る実績。
 - ・無料振替は、延べ9,135人(830人/日)の御利用
（11月2日～12月1日の土日祝計11日間平均）
東山駅：6,779人（616人/日）、北大路駅2,356人（214人/日）
 - ・「地下鉄・バス1日券」の臨時販売では、計2,645枚を販売
新幹線京都駅構内：1,453枚（11月23日及び30日の計2日間）
京都駅前期間限定案内所：1,192枚
（11月23日～12月1日の土休日計4日間）
- 臨時増発については、
 - ・市バス：京都駅から清水寺・祇園方面（ピーク時：9時～13時頃）に定期便と「観光特急バス」を合わせて3～4分間隔で運行、延べ343便を増発
 - ・地下鉄：烏丸線で16往復/日、東西線で4往復/日を増発
- “おもてなしコンシェルジュ”による案内活動について、11月は平日も含めて毎日、京都駅前で実施

各取組を計画通り円滑に実施したことで、混雑緩和に一定寄与したものと考えている。

<参考>市バス・地下鉄の1日当たりお客様数

（11月2日～12月1日の土日祝計11日間平均/市バスは降車客数、地下鉄は改札通過人員）

【市バス】334,747人/日（R5比+2.5%、R1比▲6.6%）

【地下鉄】636,344人/日（R5比+0.3%、R1比▲10.8%）

手ぶら観光の推進

新規 宿泊施設等巡回バス導入実証事業【HANDS FREE BUS】

【期間】 10月1日～12月27日(計88日間) 【料金】 大人500円・小人250円

【実績】 計1,014名(11.5名/日)

期 間	合 計
10月1日～31日	216名
11月1日～30日	427名
12月1日～27日	371名
合 計	1,014名
1日平均	11.5名

(参 考)

平日平均(全期間) : 8.8名

休日平均(全期間) : 17.6名

休日平均(11月下旬～12月上旬) : 62.5名

一部新規 臨時手荷物配送・預かり所の設置・運営

【期間】 11月～12月上旬の土日祝(計7日間) 【会場】 京都駅ビル駅前広場

【実績】 計443個/日(R5秋比+7.5%)

(内訳) 配送サービス: 44個/日(R5秋7個/日)

一時預かりサービス: 399個/日(R5秋405個/日)

【結果及び対策の評価等】

- HANDS FREE BUSは、利用実績が想定より少ない結果となった。
- 原因として、①「旅マエ」での周知不足、②京都駅バス乗り場の視認性の低さ、③運行頻度の少なさがあったと分析。
- なお、12月上旬には日当たり約90名を超える日もあり、秋シーズンのピークを経た後も、全期間を通じて利用者は増加傾向だった。(当該結果を今後の手ぶら観光施策に活用していく。)
- 臨時手荷物配送・預かり所の実績は堅調(コロナ禍前の1.7倍)、更に配送実績は昨年度から大幅増加したことを踏まえると、手ぶら観光の浸透は着実に進んでいると考えられる。

京都駅一極集中の緩和

新規 京都駅を經由しない入洛ルート等の情報発信

【期間】 11月1日～12月31日

【実績】 チラシ配布部数: 計75,000部

新規 京都駅前広場の期間限定案内所を核とした案内・誘導

【期間】 11月中旬～12月上旬の土日祝(計6日間)

【実績】 計5,058人(1日最大875人)に個別対応

新規 デジタル広告を活用したサブゲート利用に係る情報発信

【期間】 11月1日～12月31日

【表示回数】計: 12,133,779回

(内クリック数111,299回)

継続 京都駅一極集中の緩和に向けた情報発信

京都駅タクシー乗り場における利用者の滞留対策

【結果及び対策の評価等】

(詳細は京都駅周辺シートを参照)

- 各取組の相乗効果により、D2のりばの待ち時間は概ね10分以内で、最大でも15分程度タクシー乗り場も同様で、京都駅で目立った混雑は発生しなかった。

マナー対策

新規 日本人向けのマナー啓発コンテンツの拡充

【実績】

- ・ SNS広告：202万リーチ
- ・ 市バス車内広告：900枚（全車両各1枚掲載）



新規 観光事業者等によるマナー啓発への支援

- ・ マナーフレーズ集（試作）を実際の観光事業の現場（17事業者）で使用いただき、その結果等を最終版（R7.1完成）に反映。



新規 祇園町南側地区におけるマナー啓発キャンペーン（11/1・11/29）

【※詳述⇒祇園地域の取組】

一部新規 散乱ごみ対策（嵐山・祇園）

【※詳述⇒嵐山、祇園地域の取組】

継続

旅マエから旅ナカまでのマナー啓発

- 【実績】SNS広告（英・繁）：計199万リーチ
- JNTO本部及び14事務所と連携した情報発信
- 国内ツアオペ等 計481事業者に周知 等
- 外国人観光客に向けたマナー等啓発ツアーの実施
- 地域が取り組む観光課題対策への支援

【結果及び対策の評価等】

- 主に外国人観光客を対象とした、従来の取組に加え、日本人観光客向けの啓発媒体の作成や、観光事業者による啓発の促進等に新たに取組んだ。
- 取組の評価については、市民意識調査結果（R6年度内に公表）で確認予定。
- 引き続き、マナーの浸透に向け粘り強く取組を進めていく。

京都観光モラルの普及

新規 観光客による「京都観光モラル」宣言促進事業（11/1-）

【実績】（11/1-1/21）

- ・ 宣言者数：530人（日本人404人、外国人126人）
- ・ 協力事業者数：119施設

新規 市民生活と調和した持続可能な観光促進に向けた海外プロモーション強化事業

【実績】（R6.12末時点）

- ①米TV「CBS News」、豪雑誌「The Australian」⇒京都観光モラル、混雑対策等を発信
- ②有カインフルエンサー（米豪3名）⇒京都観光モラル、分散化の取組等を発信⇒Instagram、TikTok総再生回数 約170万回

新規 「観光効果の見える化・観光への市民共感」促進事業

- ・ ポータルサイト「LINK!LINK!LINK!」を開設。
- ・ 市民限定の観光事業者等による割引等サービスや、観光が京都にもたらす意義・効果等を発信。

【実績】（12/3-1/15）

- ・ PV：約7.7万人
- ・ ユーザー：約4.3万人



継続

「京都観光モラル」普及促進事業及び優良事業者表彰
京都観光オフィシャルサイトの運営

【結果及び対策の評価等】

- 京都観光に関わる3者のうち、観光客及び市民を対象とした取組を、観光事業者との連携の下、新たに開始した。
- とりわけ「LINK!LINK!LINK!」は、好調な滑り出しであり、市民から好意的なコメントを多数いただくなど、手応えを感じられた。
- 引き続き、「京都観光モラル」の普及促進に向け、粘り強く取組を進めていく。

地域別の 観光課題対策の結果について

東山地域

<主な課題点>

- ・東大路通南行（四条～五条間）の渋滞
- ・清水坂駐車場に向かう観光バスによる五条坂の混雑
- ・五条通での観光バスの路上滞留等
- ・東大路通での市バスの混雑

<対策の方向性>

- ・東大路通への車両の流入抑制
- ・清水坂駐車場の収容容量に応じた五条坂への流入量の適正化
- ・観光バスやマイカーのうろつきや路上滞留の減少
- ・公共交通利用の円滑化 等

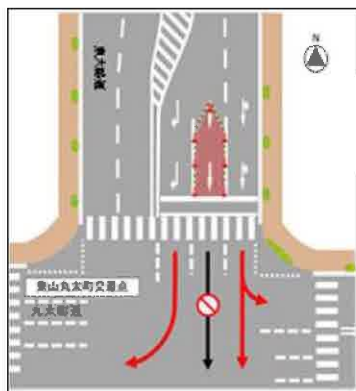
新規

東大路通社会実験（11/23,24,30,12/1）

<取組>

- ・東山丸太町交差点の南行直進1車線の利用を制限
- ・プラカードスタッフ、横断幕、電柱幕等での周知により堀川通へ迂回誘導

令和6年
11月23日（土・祝）、
24日（日）、
30日（土）、
12月1日（日）
の4日間における東大路
通社会実験の概要図



【結果及び対策の評価等】

- 事前周知等により、社会実験に伴う東山丸太町交差点での大きな渋滞や車両の混乱等は生じなかった。
- 東大路通南行（四条通～五条通間）及び社会実験の影響を受ける道路（堀川通）においても、顕著な混雑は見られなかった。
- 東大路通南行の旅行速度は改善が見られる（昨年度観光ピーク時と比較）。

※ 社会実験の詳細な評価は、実施中のデータ分析により行う。

継続

観光地等交通対策

<取組>（東山五条周辺での取組）

- ・東大路通高台寺南門参道交差点で北行右折禁止（10～19時）
- ・東大路通南行から五条坂左折進入禁止（12～19時）
- ・国道1号西行から五条坂右折進入禁止（同上）
- ・大谷本廟前タクシー乗り場の封鎖及び有効活用（7～19時）
- ・東山五条交差点や五条坂等に交通誘導員を配置。

小括

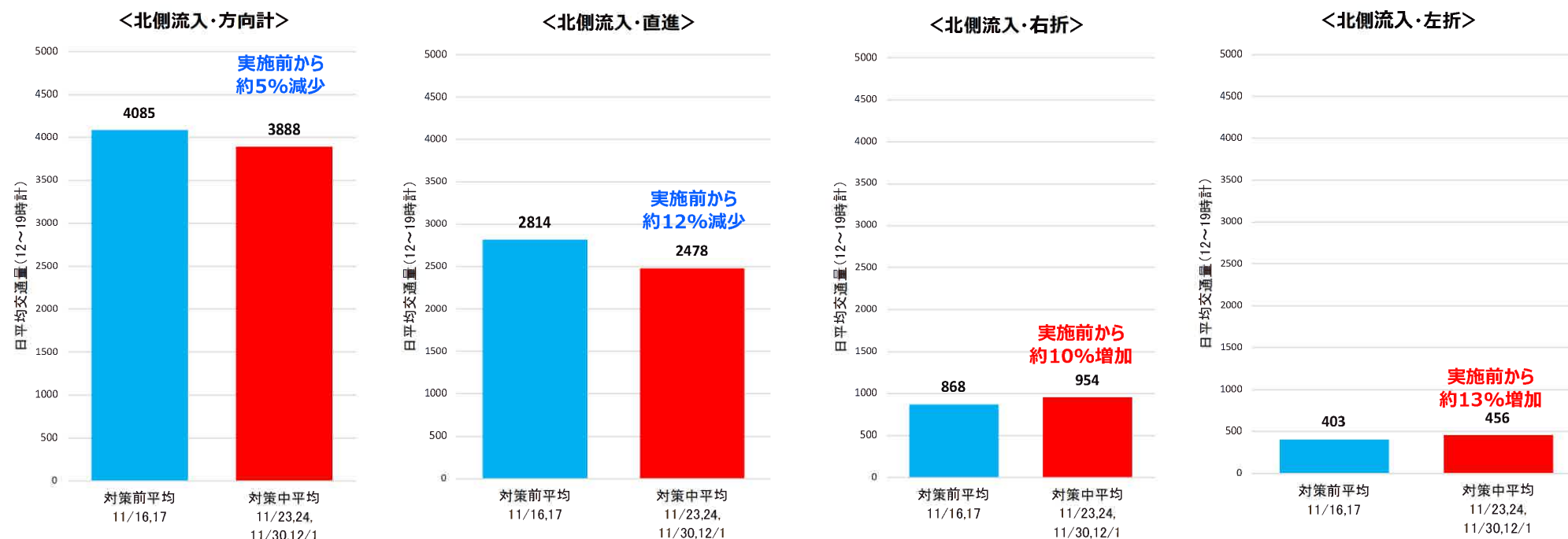
東大路通社会実験による東大路通への車両の流入対策及び東山五条周辺での交通規制等を実施した結果、観光ピーク時である11月下旬の土日祝における顕著な交通渋滞は生じず、旅行速度が改善する等の一定の効果があった。

東大路通社会実験の効果 (対策実施日：令和6年11月23日、24日、30日、12月1日の12時～19時)

1.社会実験前後の東山丸太町交差点の交通状況

- 社会実験実施中、東山丸太町交差点に北側から流入する交通総量は約5%減少。
- 方向別では、直進交通量が約12%減少、右折交通量が約10%増加したことから、迂回誘導の効果が確認された。

■ 東山丸太町交差点に北側から流入する交通の進行方向別交通量



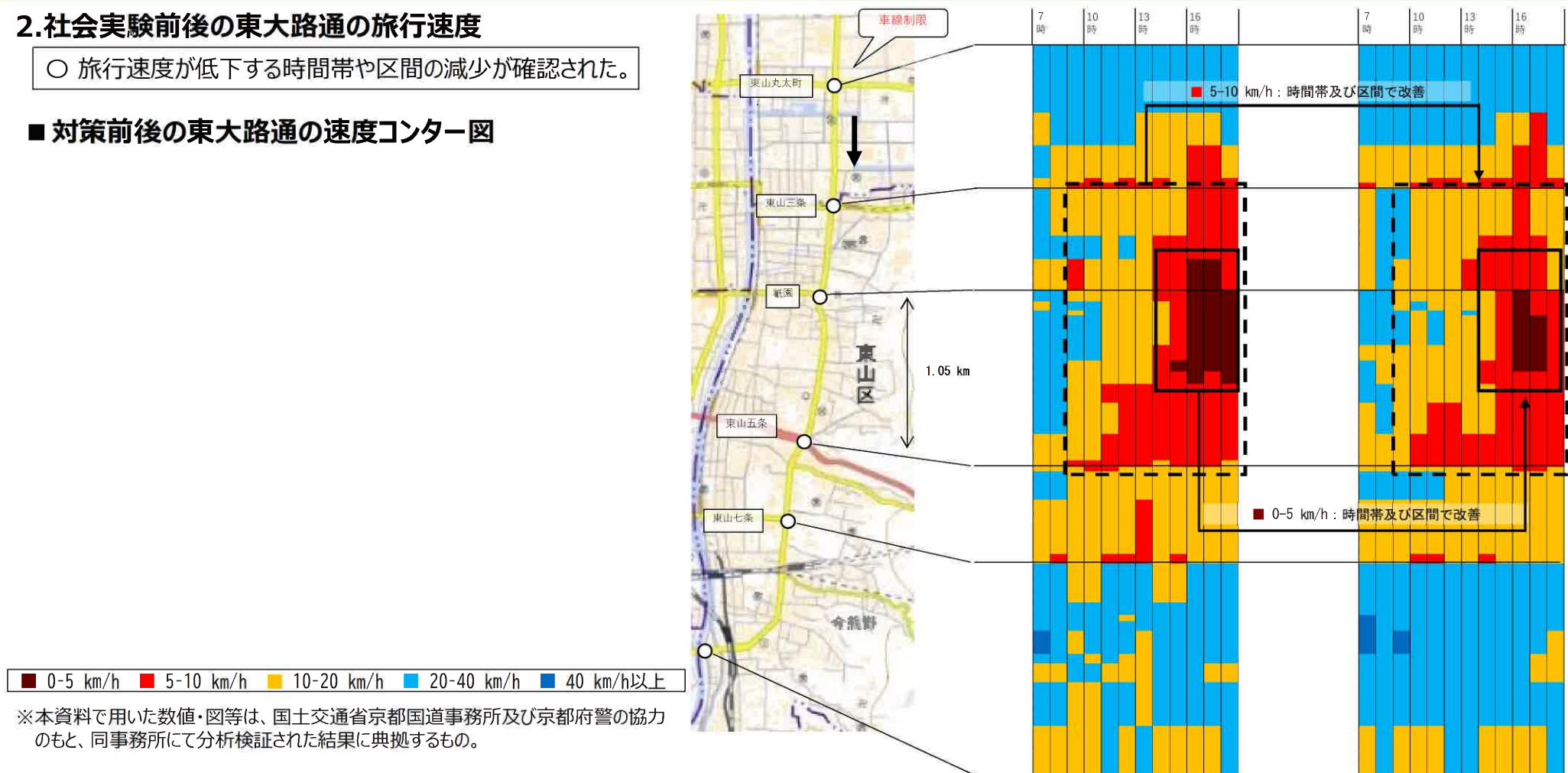
東大路通社会実験の効果

(対策実施日：令和6年11月23日、24日、30日、12月1日の12時～19時)

2.社会実験前後の東大路通の旅行速度

○ 旅行速度が低下する時間帯や区間の減少が確認された。

■ 対策前後の東大路通の速度コンター図



東山地域

<主な課題点>

- ・東大路通南行（四条～五条間）の渋滞
- ・清水坂駐車場に向かう観光バスによる五条坂の混雑
- ・五条通での観光バスの路上滞留等
- ・東大路通での市バスの混雑

<対策の方向性>

- ・東大路通への車両の流入抑制
- ・清水坂駐車場の収容容量に応じた五条坂への流入量の適正化
- ・観光バスやマイカーのうろつきや路上滞留の減少
- ・公共交通利用の円滑化 等

一部 新規

市営観光駐車場に集中する車両の抑制対策 (10/10-12/10)

<取組>

- ① 観光バスの完全予約制(2時間制)
- ② 自家用車の受入制限

<実績>

東大路交差点から駐車 場入口までの到達時間	東行き/上り (時間)	西行き/下り (時間)
対策前	平均6分56秒	平均19分33秒
対策期間中	平均3分03秒	平均11分39秒
効果(減少率)	△56%	△40%

継続

観光バスの路上滞留対策

(10/10-13、11/16-12/8 (8日間))

<取組>

- ① 清水坂観光駐車場完全予約制に伴う現地啓発活動
- ② 秋の観光シーズンにおける現地啓発活動

<実績> ※()内はR5秋実績との比較

① 五条通:25件/日(▲17%)
10分以上滞留:31%(▲26%)

② 五条通:21件/日(▲30%) 等

【結果及び対策の評価等】

○ 清水坂観光駐車場を利用するバスの来場日・来場時間の平準化が図られ、五条坂の混雑が緩和された。ただし、修学旅行利用者から、駐車時間が短いとの意見があった。
⇒ 3時間枠、4時間枠の設定を検討

○ 観光バスの路上滞留については、啓発件数及び10分以上の滞留時間は昨年度秋時期比で減少していることから、これまでの取組により、長時間の路上滞留の一定の解消が見られており、着実に成果が表れているものと認識。

○ トイレに関するマナー啓発により、対策前と比較し、利用者や協力店舗等からマナーに関する苦情がほぼなくなった。また、誘導先のトイレの利用者が増加し、分散化の効果が確認された。

新規

トイレに関するマナー啓発や分散化等の情報発信の充実

<実績>

- ① 清水坂観光駐車場東公衆トイレ・高台寺公園公衆トイレに近隣のトイレへ誘導する英語版の案内文を掲示。清水坂観光駐車場トイレの5か所にピクトグラムを掲出。
- ② 各トイレの設備一覧(便器数、オストメイト、ベビーチェア等)や位置情報(Google Map)の追加。清水周辺等の主要観光地におけるトイレ情報ページを新設。
- ③ トイレ利用のマナー啓発物を作成し、「東山観光といれ事業」協力店舗に配布

小括

清水坂観光駐車場の観光バス完全予約制、路上滞留する観光バスの啓発活動等に取り組んだ結果、五条坂の混雑緩和や観光バスの路上滞留時間の低減等、対策の効果が確認された。

【事業実施の様子等】

○東大路通社会実験



東山丸太町での南行直進1車線利用制限の状況



プラカードスタッフによる周知状況

○観光バスの路上滞留対策



清水坂観光駐車場における現地啓発状況

○トイレに関するマナー啓発や分散化等の情報



トイレマナーの為の啓発物



誘導案内、ピクトグラムの掲示

○市営観光駐車場車両抑制対策



東山地域

<主な課題点>

- ・東大路通南行（四条～五条間）の渋滞
- ・清水坂駐車場に向かう観光バスによる五条坂の混雑
- ・五条通での観光バスの路上滞留等
- ・東大路通での市バスの混雑

<対策の方向性>

- ・東大路通への車両の流入抑制
- ・清水坂駐車場の収容容量に応じた五条坂への流入量の適正化
- ・観光バスやマイカーのうろつきや路上滞留の減少
- ・公共交通利用の円滑化 等

一部新規 市バスの混雑対策

1 「観光特急バス」の運行

令和6年6月実施の「新ダイヤ」で、市民利用と観光利用の棲み分けを目的とした「観光特急バス」を運行運行開始
【土休日（通年） ※お盆・年末年始も運行】

2 ダイヤの充実と臨時バスの増強

既設系統と「観光特急バス」を合わせ、京都駅→東山エリア（清水寺・祇園方面）を3～4分間隔でバスを運行

3 「東山三条」での市バスから地下鉄への無料振替

京都駅へ向かうお客様を対象に、「東山三条」で市バスから地下鉄への無料振替を実施
【11月1日～12月1日の土休日】

4 案内員の増員

清水道・五条坂で、交通局職員や京都市バス“おもてなしコンシェルジュ”による案内活動を実施
【11月23日、24日、30日、12月1日】

5 地下鉄・バス1日券の販売強化

「地下鉄・バス1日券」臨時販売を実施
新幹線京都駅構内【11月23日及び30日の計2日間】
京都駅前期間限定案内所
【11月23日～12月1日の土休日計4日間】

<追加取組> 清水道停留所のバス待ちスペース設置の取組

㈱京都銀行及び銀泉㈱の御協力を得て、近接するコインパーキングを活用したバス待ちスペースを確保することで、歩道の通行環境を改善
【11月23日、24日、30日、12月1日】

【結果及び対策の評価等】

- 延べ343便に上る臨時増発、「観光特急バス」は2,974人/日（シーズン期間中）の利用、無料振替では延べ6,779人（616人/日）の利用、地下鉄・バス1日券は計2,645枚の臨時販売を行い、移動経路の分散化と混雑の緩和に寄与。
- 更に、最繁忙期には、清水道停留所に近接する駐車場を活用したバス待ち客の待機スペースとして運用し、歩道の通行環境とお客様のバス待ち環境改善に効果があった。

【取組の実施状況】

清水道停留所バス待ちスペースの確保 / 東大路通 歩道の歩行環境改善（11月23・24・30日、12月1日実施）

対策前



11/22（金）18:20頃
清水道南行停留所バス待ちの列
（東大路通歩道）

対策後



11/23（土）17:30頃
バス待ちスペース
（コインパーキング内）



東大路通歩道

小括

観光特急の運行や臨時増発による輸送力増強、無料振替や案内員の増員配置等あらゆる対策を組合せることにより、安全かつスムーズに輸送を行うことができた。

<主な課題点>

- ・渡月橋や長辻通等、特定の場所における観光客の集中
- ・食べ歩きによるごみのポイ捨て

<対策の方向性>

- ・嵯峨エリアへの分散化
- ・地域、事業者、行政が連携した散乱ごみ対策の推進 等

新規

嵯峨嵐山におけるエリア内の分散化 (11/1~)

<取組>

- ①嵯峨嵐山周遊ガイド（デジタルマップ）
 - ・おすすめコース紹介、デジタルスタンプラリー、ライブカメラ映像、磯田教授による魅力紹介動画等を発信
- ②回遊ルート誘導実証
 - ・嵐山公園中之島地区、竹林の小径の誘導員が嵯峨エリアへ誘導

<実績>

- ・デジタルマップの利用者数：約2.3万人
- ・日本人観光客のR5比の変動（11月下旬 土日祝）
⇒嵐山エリア（+7.6%）＜ 嵯峨エリア（+30%）

一部新規

道路等の混雑対策

<取組>

- ①長辻通（三条通～丸太町通）の北行一方通行の平日拡大（11/18-29）
- ②長辻通の歩行者用道路（※）
※11/23,24,30,12/1
- ③AIカメラを活用した歩行者の計測（渡月橋北詰、11月上旬～）
- ④嵯峨街道の南行一方通行（②に同じ）

【結果及び対策の評価等】

- デジタルマップ、回遊ルートへの誘導等、産業観光局及び都市計画局の連携した取組の相乗効果により、嵐山から嵯峨への周遊人数が大きく増加した。
- 臨時交通規制については、地元自治連や保勝会等による住民専用乗合タクシー実証事業や、バス事業者による規制に合わせた柔軟な運行等、周辺住民の不便解消のための対応も併せて行ったこともあり、大きな混乱等は生じなかった。

新規

散乱ごみ対策

嵐山商店街、住民、大学、本市等による座談会（R6.5～）で検討した取組を具体化！

<取組>

- ・地域ルール「ごみは買ったお店で必ず捨てる」の多言語啓発
- ・上記ルール協力者に記念品を渡す「ハートバック制度」実施
- ・平日午後3時に事業者等で清掃活動する「クリーンタイム」実施
- ・地域が連携した街頭ごみ容器のごみ袋交換
- ・上記の他、ボランティア団体によるマナー啓発、関係者との連携による清掃活動等、多様な取組を実施

【結果及び対策の評価等】

- 嵐山商店街の20を超える店舗が「ハートバック制度」に参加。地域が連携した手づくり記念品を計6千枚以上配布
- 「クリーンタイム」には、多くの観光客も参加。
- ごみの散乱はほぼ見られなかった。地域や事業者から、感謝の言葉を多数いただいた。

小括

各種対策の相乗効果が発揮され、嵯峨エリアへの周遊者数増やごみ散乱防止などに繋がった。また、行政だけではなく、地域、事業者が主体的に取組を進めたことによる影響も大きい。

嵐山地域

【事業実施の様子等】

○回遊ルート誘導実証の様子



○臨時交通規制（歩行者専用道路）の様子



○嵯峨嵐山周遊ガイド



○地域、事業者と連携した散乱ごみ対策の様子 (ハートバック制度、クリーンタイム)



祇園地域

<主な課題点>

- ・ マナー問題（芸妓・舞妓への迷惑行為、観光客が車道にはみ出す行為等）
- ・ 散乱ごみの発生

<対策の方向性>

- ・ 祇園地域で守っていただきたいマナー等を国内外に広く周知、浸透させる。

新規

祇園町南側地区におけるマナー啓発キャンペーン（11/1,11/29実施）

<取組内容等>

- ① 警備員約10名による交通整備
 - ② 京都女子大学生生活デザイン研究所作成による啓発物配布（計1,500枚）
 - ③ 龍谷大学留学生による多言語啓発アナウンス（英・中・韓）
 - ④ 車道歩行防止のポストコーン設置
- ⇒ 啓発の様子をSNS広告で配信（約5万件のクリック実績）



【結果及び対策の評価等】

- 地域関係者が一堂に会するイベント的な雰囲気や、啓発物のデザイン等に興味を惹かれる形で、観光客は積極的に啓発物を受け取っていた。
- 地域の方から「車道を歩行する観光客が減少した」等といった声をいただくなど、分かりやすい形で、直接伝えることの効果を確認した。
- 活動の様子を配信したSNSでも多くのクリック数を獲得出来、旅マエの啓発としても役立てることが出来た。

一部新規

散乱ごみ対策

<取組内容等>（下線事業が新規）

- ① 街頭ごみ容器のごみ回収追加（朝昼2回⇒朝昼夕3回）
- ② 街頭ごみ容器周辺の早朝パトロール・美化活動
- ③ スマートごみ箱の八坂神社 祇園石段下への新設置
- ④ 地元事業者等への街頭ごみ容器の容器周辺の清掃やごみ袋交換の協力要請
- ⑤ コンビニやコーヒーショップ等へ散乱防止対策、ごみ箱設置、周辺清掃、ごみの受取等の継続実施を要請
- ⑥ 祇園商店街振興組合による散乱ごみ対策
- ⑦ 祇園青龍組（祇園商店街振興組合有志）による一斉清掃活動



【結果及び対策の評価等】

- 地域等と一体で進めてきた対策を強化して実施した結果、大きなごみの散乱は発生しなかった。
- 祇園商店街振興組合との連携の下、各店舗に祇園青龍組の清掃活動への参加呼び掛けを強化した結果、常時20名以上に増加した。
- 地域や事業者から多数の感謝をいただいた。

小括

行政だけでなく、地域、事業者等が一体となって取組を進めることで、相乗効果を発揮することが出来た。マナーやルールを周知・浸透させるためには、粘り強い取組を継続していく必要があるが、今後も地域等との対話を通じて、各主体が力を出し合いながら工夫を重ねていく。

京都駅周辺

<主な課題点>

- ・ 京都駅への一極集中
- ・ 一部市バス路線への過度な集中
- ・ 大型手荷物のバスへの持ち込み

<対策の方向性>

- ・ 各種取組の連携実施により「一部の市バス路線の混雑緩和」、「大型手荷物の市バスへの持ち込み抑制」に繋げる。

一部新規 市バスの混雑対策

<取組1>市バス・地下鉄の輸送力の増強(臨時増発)

【市バス】

- ・ 東山方面に向かう206号系統など定期便や「観光特急バス」と合わせ、3～4分間隔の高頻度で運行
- ・ 期間中※、延べ343便の臨時便を増発
※11月2日(土)～12月1日(日)

【地下鉄】

- ・ 烏丸線は1日当たり16往復、東西線は4往復の臨時増発

<取組2>「観光特急バス」の利用促進

- ・ シーズン期間中、2,974人/日の御利用(最多は11/3の3,942人)
- ・ 京都駅前バスのりばを中心に案内サインの増設等を実施
- ・ コンシェルジュ添乗による観光案内
- ・ 「地下鉄・バス1日券」の券面を活用したPRを実施

<取組3>市バス・地下鉄の案内活動

- ・ 11月は平日も含め毎日、コンシェルジュによる案内活動を実施

<取組4>新幹線京都駅構内及び京都駅前期間限定案内所での「地下鉄・バス1日券」の臨時販売

- ・ 新幹線京都駅構内: 1,453枚
- ・ 京都駅前期間限定案内所: 1,192枚

一部新規

京都駅一極集中の緩和

<取組>

- ① 日常生活・出発地での情報発信
- ② 新幹線等の車内・経路での情報発信
- ③ 期間限定案内所を核とした案内・誘導(11月中下旬の土日祝(計6日間))
- ④ 京都駅タクシー乗り場の滞留対策

<実績>

- ③計5,058人に個別対応等

新規

手ぶら観光の推進

<取組>

- ① HANDS FREE BUS(宿泊施設等巡回バス実証事業)(10/1-12/27)
- ② 臨時手荷物配送・預かり所の設置(11月の土日祝計7日間)

<実績>

- ①【日平均】11.5名 【総計】1,014名
- ②【日平均】配送44個(R5:7個)
一時預かり399個(R5:405個)
【総計】配送306個 一時預かり2,791個

【結果及び対策の評価等】

- 多くの方に「観光特急バス」を御利用いただいたことをはじめ、各種取組の相乗効果により、京都駅で目立った混雑は発生しなかった。
⇒ D2のりばの待ち時間は概ね10分以内で、最大でも15分程度。待機列がほとんど発生していない時間帯も有り。
⇒ タクシー乗り場(烏丸口・八条口)も、一時的に10分程度の待ち時間が生じた程度。

【結果及び対策の評価等】

- HANDS FREE BUSの利用は想定より低い結果であった。(詳細:手ぶら観光シート参照)
- 臨時手荷物配送・預かり所の実績は堅調(コロナ禍前の1.7倍)。更に配送実績は昨年度から大幅増加。
- D2のりば待機列で大型手荷物を携行している割合はごくわずかの状況(職員による目視調査では3%程度)。
- 対策の積み重ね等により、手ぶら観光の浸透が着実に進んでいる。

小括

「観光特急バス」をはじめとする市バス・地下鉄の輸送力の増強、京都駅一極集中の緩和に向けた情報発信、手ぶら観光の推進の取組を、11月下旬の土日祝を中心に集中的に実施した結果、D2のりばの待ち時間は概ね10分以内で、最大でも15分程度、大型手荷物を携行する観光客の割合がわずかであるなど、対策の効果が確認された。

京都駅周辺

【事業実施の様子等】



臨時交通案内所の様子



京都駅前D2のりばのバス待ち列



HANDS FREE BUS
(宿泊施設等巡回バス実証事業)



新幹線京都駅構内での
「地下鉄・バス1日券」臨時販売



臨時手荷物配送・預かり所

伏見稲荷周辺

<主な課題点>

- ・ マナー問題（ごみのポイ捨て等）
- ・ 本町通（ＪＲ稲荷駅前、裏参道と本町通交差点）の混雑

<対策の方向性>

- ・ 伏見稲荷大社及び地域団体の取組を継続して支援
- ・ 交通混雑の解消に向け、関係団体との新たな連携を模索

継続

地域団体や伏見稲荷大社等による取組

<取組①> 「伏見稲荷周辺の住みよいまちづくり推進協議会」による「ごみのポイ捨て」「食べ歩きのマナー違反」等への対策

実績：本市補助金を活用いただき、シルバー人材センターによるマナーアップ啓発及び清掃活動を実施。また、多言語のマナー啓発ポスター等の掲示を実施。

<取組②> 伏見稲荷大社による、本町通等への観光客の集中・車道へ広がる行為への対策

実績：通年で実施している伏見稲荷大社境内駐車場への警備員配置（平日は5名程度）のほかに、土日祝等の繁忙期は本町通のＪＲ稲荷駅前横断歩道及び裏参道にも警備員を配置し、雑踏整理等を実施。



【結果及び対策の評価等】

- 深刻なマナー問題が発生するまでには至っていないが、来訪者へのマナーアップ啓発等の地道な活動を継続していく必要がある。
- 警備員の配置により、車両と歩行者の雑踏整理や安全確保に一定の効果があった。ただし、JR稲荷駅前付近における歩行者の横断や、タクシーの乗降待ちによる交通渋滞等に関して、抜本的解消を求める声が地域住民から上がっている。



小括

「伏見稲荷周辺の住みよいまちづくり推進協議会」をはじめとする地域団体、伏見稲荷大社のほか、各行政機関等の関係団体との対話を通じ、来訪者に対するマナーアップ啓発及び交通混雑対策について、検討を進めていく必要がある。

春の観光シーズンにおける 観光課題対策

春の観光課題対策の概要について

【令和7年の春の観光課題対策に係る基本認識】

- 春の観光シーズンは、秋と同様に多くの観光客の来訪が見込まれることから、秋に準じた対策が必要な時期と認識。
- ⇒ 引き続き、市民生活と観光が調和する形で両立出来るよう、昨年秋の対策に準じる形で、関係局間の連携の下、総力を挙げて対策を行う。

【取組の視点等】

- 特に観光客の増加が見込まれる「桜の開花時期（3月下旬頃）」を中心に対策を講じる。
- 以下のとおり、令和6年秋に実施した新規対策等で効果が見られたもの等を継続するとともに、秋対策の結果等を踏まえた工夫等を講じることで、より効果的な対策として実施する。

【参考】京都の桜開花予想
標本木（二条城ソメイヨシノ）に基づく予想は以下のとおり。
○令和7年開花予想日 3/26（平年並）
○過去の開花日
令和3年：3/16、令和4年：3/24
令和5年：3/17、令和6年：3/29

（主な秋対策からの工夫点等）

- ・ 運行開始後、初めての桜シーズンを迎える「観光特急バス」について、バス停間の所要時間を見直したうえで、更なる利用誘導を図り、市民利用の多い並行する系統の車内混雑の緩和を目指す。
- ・ 昨年秋に約2.3万人の利用があるなど観光の分散の効果が確認された「嵯峨嵐山エリアのデジタルマップ」の取組について、4月1日からスタンプラリーを再開。
- ・ 清水坂観光駐車場のバス完全予約制について、バス来場日・来場時間が平準化され五条坂の混雑が緩和された一方で、周辺の飲食店舗等から「予約枠が2時間であったため、多くのキャンセルが出た」等の御意見があったことを踏まえ、3時間枠及び4時間枠を新設。
- ・ 観光バスについて、長時間の路上滞留が複数回確認された事案に対して、関連する観光バス事業者に加え、新たに発注元の旅行事業者に警告文を発出（実施済）。

観光地の混雑対策

○「まるっと京都」周遊観光ツアーの実施

- ・京都の早春を彩る美しい風景「城南宮」しだれ梅と淀水路の河津桜 等

○嵯峨嵐山エリア内の分散化（4/1～5/6スタンプラリー）

春シーズンもスタンプラリーを実施

○京都の夜の楽しみ方に係る紹介記事の掲載

- ・音楽・カフェ・アートの3つのテーマで、ウェブ記事を掲載（2/25から順次）

○「とっておきの京都」お花見特集記事の掲載

- ・開花時期に合わせて、京の桜の隠れた名所を専用ホームページで紹介。

- ①西京、山科、伏見編
- ②京北、高雄、大原編（近日公開予定）

夜観光のススメ

【京都・夜観光のススメ企画】話題の演劇イベントで夜の京都と日本酒を巡らそう～SAKE WORLD～

京都・夜観光のススメ企画



【3月下旬～4月中旬】ポータブルライブカメラの設置

（蹴上インクライン周辺・京都駅タクシー乗り場周辺）



【通年】京都観光デジタルマップを活用した混雑情報の発信



道路の混雑対策

【2/28(金)～3/30(日)】近畿・中部圏へのパークアンドライド利用促進に係る情報発信の強化

春シーズンも無料対応を実施

【3/20(木祝)～30(日)】パークアンドライド利用者への駐車料金無料対応（4箇所）

明日都浜大津公共駐車場、浜大津公共駐車場
長岡京駅西駐車場、タイムズ鴨川西ランプ

【3/20(木祝)～4/6(日)※】イオンモール3施設の駐車場のパークアンドライド駐車場としての活用

イオンモール京都五条、京都桂川、KYOTO
※イオンモールKYOTOは平日のみ



時間枠を新設

【3/23(日)～6/27(日)※】清水坂観光駐車場のバス完全予約制 ※4/26(土)～5/6(火)を除く。

自家用車の受入制限を併せて実施。

駐車時間枠について、2時間枠に加え**3・4時間枠を新設**。

【3/20(木祝)～4/6(日)】観光バス路上滞留現地啓発

以下の7エリアで実施。

- ①御池通、②五条通、③烏丸通
- ④仁王門神宮道周辺及び知恩院付近
- ⑤九条烏丸及び河原町通
- ⑥豊国神社及び京都芸大周辺
- ⑦堀川七条及び東本願寺周辺

秋の観光シーズンの現地啓発において、**長時間の路上滞留が複数回散見された観光バス事業者（計69社）とそのバス運行の発注元旅行事業者（計10社）に警告文を発出**



新たに発注元旅行事業者に警告文を発出（実施済）

市バスの混雑対策

「観光特急バス」の利用促進 ～市民利用と観光利用の棲み分けに向けて～

○「観光特急バス」の運行

実施日：通年の土曜・休日ダイヤ運行日

運行経路：

【EX100号系統】京都駅前～五条坂(清水寺)～祇園～岡崎公園 美術館・平安神宮前

～銀閣寺前(32回／日)※清水道始発8便含む
【EX101号系統】京都駅前～五条坂(清水寺)(16回／日)

運行開始後、
初めての桜シーズン



■観光特急バス

○「観光特急バス」運行の効果検証結果を踏まえたダイヤの見直し 充実

バス停間の所要時間を見直し、より一層の利用促進を図る。

実施日：3/22(土)ダイヤ改正実施日～

運行の定時性の向上

○「観光特急バス」の利用促進 一部新規(下線部)

多言語でのWEB記事掲載をはじめ、空港や宿泊施設等におけるリーフレットやデジタルサイネージ等の広告媒体を活用した「旅マエ・旅ナカ」での効果的なPRを実施

東アジア圏での
PRを拡充

地下鉄をはじめとした鉄道を活かした移動経路の分散

○市バスから地下鉄への無料振替

実施日時：3/29(土)、30(日)

各日15時30分～18時50分

実施停留所：東山三条（地下鉄東山駅）

○「地下鉄・バス1日券」の臨時発売

実施日時：3/29(土)、30(日)

各日8時30分～12時

実施場所：新幹線京都駅2階コンコース内



■新幹線京都駅での臨時販売

○「地下鉄・バス1日券」の利用促進 一部新規(下線部)

多言語でのWEB記事掲載をはじめ、空港や宿泊施設等におけるリーフレットやデジタルサイネージ等の広告媒体を活用した「旅マエ・旅ナカ」での効果的なPRを実施【再掲】

市バス・地下鉄の臨時増発とお客様案内の充実

○市バスの臨時増発

<東山方面>

- ① 京都駅から清水寺・祇園方面へ、「観光特急バス」や206号系統などの定期便と合わせ、106号系統（楽洛東山ライン）を臨時増発し、ピーク時には3～4分間隔で運行する。

実施日：3/22(土)～4/6(日)の土曜・日曜

運行経路：京都駅前～博物館三十三間堂前

～五条坂(清水寺)～祇園～三条京阪前

増発回数：京都駅前発 10～15回／日(9時台～18時台)



■106号系統(楽洛 東山ライン)

- ② 東山方面から京都駅へ向かう206号系統（区間運行便）を臨時増発する。

実施日：3/29(土)～4/6(日)の土曜・日曜

運行経路：馬町(始発)→東山七条→博物館三十三間堂前→京都駅前

増発回数：馬町発 4回／日

<金閣寺方面>

鉄道とバスを組合せた移動への誘導を図るため、鉄道駅と金閣寺を結ぶ25号系統を臨時増発する。

3/22(土)
ダイヤ改正で新設

実施日：3/22(土)～4/6(日)の土曜・日曜

運行経路：京都外大前～西大路四条(阪急・嵐電西院駅)～西ノ京円町(IR円町駅)

～金閣寺道～北大路バスターミナル(地下鉄北大路駅)

増発回数：京都外大前発 3回／日

※ 上記以外の系統においても、御利用状況に応じて臨時便を運行する。

○地下鉄の臨時増発

実施日：3/22(土)～4/6(日)の土曜・日曜

増発本数：烏丸線 計12往復(10時台～19時台)

おもてなしコンシェルジュ
活動場所・時間を充実

○京都市バス「おもてなしコンシェルジュ」の活動 充実

実施日：

【京都駅前】土・休日(通年)、

3/20(木・祝)～4/14(月)に毎日配置

【新幹線京都駅構内】3/29(土)、30(日)

【観光地最寄り停留所※】3/21(金)～23(日)、

3/28(金)～31(月)、4/4(金)～7(月)

※ 銀閣寺道に加え、清水道・五条坂・祇園にも配置



■京都駅での案内活動

○主要バス停留所及び主要地下鉄駅での案内活動

実施日：3/22(土)～4/6(日)の土曜・日曜

京都駅一極集中の緩和

【3月下旬の土休日】臨時交通案内所を核とした案内・誘導

多言語対応の案内所を核として、
京都駅から観光地へ移動する観光客
を地下鉄・観光特急バス等や、臨時
手荷物 預かり所等に誘導する。
※期間：3/20（木祝）～23（日）、
29（土）、30（日）



連携
実施

【～3/31(月)】観光客の入洛段階に応じた情報発信（京都駅を経由しないルートや地下鉄利用促進等）

1 日常生活・出発地

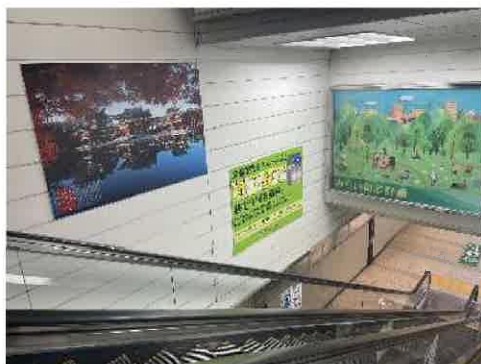
- ・大阪方面からの入洛客に対する、
関西主要駅等でのポスター掲示等
- ・首都圏デジタルサイネージ等

2 車内・経路

- ・新幹線車内テロップ
- ・JR西在来線車内モニター

3 目的地直前

- ・新幹線京都駅における特設パネル
設置、駅内デジタルサイネージ



手ぶら観光の推進

【3月下旬の土休日】臨時手荷物配送・預かり所の設置・運営

手荷物の宿泊施設への当日配送や
一時預かりサービスを実施。
※期間：3/20（木祝）～23（日）、
29（土）、30（日）
※料金：当日配送 1,500円、
一時預かり 1,000円



【2/25(月)～】手ぶら観光に係る情報発信

※下記マナーに係る旅マエ啓発の取組と併せて発信

マナー問題への対策等

よりターゲットを絞った
啓発を実施

【2/25(月)～】マナー啓発（旅マエ～旅ナカ）

- ・Facebook、Instagram(**ターゲット設定サービスADARAを活用**)、
Weibo、Wechat、REDによる
情報発信
- ・J N T O、国内ツアオペと連携
したマナー啓発
- ・「**京都観光コンシェルジュ**」
(**ホテル雑誌**) への掲載
- ・市政広報版への掲示



【3/28(金)】祇園町南側地区マナー啓発キャンペーン

散乱ごみ対策

祇園：花見時期の前に全てスマートごみ箱に置き換え（2月）
ごみの収集回数追加（3月下旬～GW予定）

嵐山：長辻通にスマートゴミ箱を新たに複数台設置予定。

また、設置に合わせ事業者のごみ箱設置、スマートごみ箱
のごみ袋交換や周辺清掃の協力を得られるよう地域と調整中
（5/1 設置予定）